

「平成二二年度学生支援に関わる教職員の研修会」を開催しました

本機構東海北陸支部では、「学生の悩み相談事業」として、標記研修会を平成二十二年一月一日（木）にウイルあいち（名古屋市中区）にて開催し、七九名が参加しました。

この研修会は、あいち学生支援コンソーシアムと連携協力し、岐阜、静岡、愛知及び三重県内の大学等教職員が、多様な学生への具体的対応方法について討議研修し、学生への支援体制について情報交換を行うことを目的に実施しているものです。

はじめに、主催者である本機構東海北陸支部 中村直規支部長及びあいち学生支援コンソーシアム 杉山寛行運営委員会委員長（名古屋大学理事・副総長）から、挨拶が行われました。

次に、桐山雅子学生相談専門委員会委員長（中部大学学生相談室教授）から、研修会の企画趣旨説明が行われました。

研修会は、講演・シンポジウム及び分科会で構成され、講演では「過渡期にある学生支援と学生相談」をテーマに、

内野悌司講師（広島大学 保健管理センター准教授）による、

大学の現況や課題について及び最近の学生の特徴や学生支援の取り組みについて、また、学生支援の充実化のための必要事項等について、事例を交えて説明がありました。

シンポジウムでは、「現場で感じる変化と自分自身の取り組み」をテーマに、その話題提供として、最初に、太田裕一氏（静岡大学 准教授・カウンセラー）から、工学系中心のキャンパスにおける留年生サポートグループの試みについての発表がありました。

次いで、船津静代氏（名古屋大学 助教）から、学内の



桐山委員長より企画趣旨説明

学生相談室体制及び最近のキャリア支援に対する認識、来談する学生の多様化について、また、自分自身の取り組みについて発表がありました。

引き続き、水谷早人氏（日本福祉大学 学生支援部長）

から、学生支援と教育マネジメントとして、大学における統計上から見る変化、学生像を明らかにする取り組みについて等の発表が行われました。

分科会においては、五つのグループに分かれ、①「よりよく、聴く」ために「学生対応に活かすカウンセリングの基礎(1)」、②「よりよく、伝える」ために「学生対応に活かすカウンセリングの基礎(2)」、③「学生を支える有効な連携とは」④「発達障害という視点を活かした学生支援」⑤「対応に困った事例」のテーマで、活発な意見交換・討議がなされ、日頃、多様化する学生対応に苦勞している教職員にとって、二時間半にわたる真剣な論議は、有意義で役立つ内容であったとの多くの声が聞かれました。

今後も、大学等の学生サービスの充実を支援し、大学等のニーズをよりの確に把握して、本事業の充実に努めていくこととしています。

「平成二二年度 外国人留学生に対する就職支援ガイダンス」を開催しました

本機構東海北陸支部では、「留学生支援事業」として、標記ガイダンスを平成二二一年一月七日（土）に名古屋大学 I B 電子情報館大講義室（名古屋市中種区）にて開催し、一三〇名が参加しました。

このガイダンスは、あいち学生支援コンソーシアムと連携協力し、卒業・修了後も日本に留まり、企業等に就職を希望する外国人留学生の就職・採用に関する様々な情報交換を行なうこ



開会挨拶

とにより、留学生の就職の充実に資することを目的に、平成一六年から毎年実施しているものです。

はじめに、主催者である本機構東海北陸支部 中村直規 支部長及びあいち学生支援コンソーシアム 杉山寛行運営委員会委員長（名古屋大学理事・副総長）から、留学生の皆さんは日本企業の文化・習慣や就職活動そのものに戸惑いを感じると思うので、その一助になればとの趣旨を交えた挨拶が述べられました。

ガイダンスは、①行政・企業からの講演、②参加者も交えた面接シミュレーション、③就職活動を終えた留学生の体験報告、④質疑応答の四部構成により進められました。

まず行政の立場として、名古屋外国人雇用サービスセンターで、外国人労働者専門官として直接外国人の就職のサポートを行なっている岡本高典氏から「留学生就職支援ガイダンス」と題して講演がありました。講演では、就職活動の開始時期・進め方や在留資格の変更等について、具体的な説明が行なわれました。

次に、企業の立場として、㈱デンソーにおいて、人材育成や海外拠点向けグローバル教育の展開に従事し活躍している賈瑾氏から「日本で働く意味を考えよう―志望動機の観点から」と題して講演があり、自らの就職活動を踏まえ、

社会人としての視点からアドバイスが行なわれました。

引き続き、賈瑾氏による面接シミュレーションが行なわれました。会場の参加者から面接体験協力者を募り、面接官として岡本高典専門官の協力を得て、舞台上で模擬面接を実施し、会場の感想も交えながら、具体的な指導が行なわれました。また、就職活動体験報告学生による面接受験の模範例も示されました。

さらに、採用

される側の留学生の立場として、今年度就職活動を終え、日本企業から内定を得ている二人の留学生による、自らの就職活動の体験報告が行なわれ、後輩の留学生のために、力を込めて説明すると



面接シミュレーション

もに、就職活動は自己成長できるチャンスと捉え楽しく取り組んで欲しいとの励ましや有益な助言がありました。

最後の質疑応答では、会場の参加留学生から、学業と就職活動の両立方法についてなどの熱心な質問が多数あり、講師及び体験報告学生から、適切な回答及びアドバイスが行なわれ、盛会のうちに閉会しました。

東海北陸支部においては、このガイダンスが、日本で就職を希望する留学生にとって就職活動に関する有意義な基本的知識の習得や、情報の収集の場となることを願うとともに、今後もあいち学生支援コンソーシアムと連携協力し、充実した就職支援事業の実施に努めていくこととしています。

留学生交流事業・

フォローアップ事業申請募集中

留学生事業部交流事業課では、以下の事業について平成二二年度の募集をしています。

○日本の大学と海外の大学とのセミナーを財政的に支援する「国際大学交流セミナー」

【支援内容】 諸謝金、委員等旅費、外国人学生招致等旅費、

管理費（上限二五〇万円）

※「国際大学交流セミナー」募集要項↓

<http://www.jasso.go.jp/exchange/semi.html>

※平成二二年度国際大学交流セミナー開催報告

http://www.jasso.go.jp/exchange/daiyakukouryu_r-h21.html

○元留学生が日本の大学で短期研究を行う機会を提供する

「帰国外国人留学生短期研究制度」

【支援内容】 外国人研究者・往復渡航旅費、滞在費

（日額一万一千円）

受入研究者・受入協力費（定額五万円）

※「短期研究制度」募集要項↓

http://www.jasso.go.jp/exchange/sgtj_r1.html

※採用者のレポート（平成二二年度）

http://www.jasso.go.jp/exchange/tanken_r_h21.html

○元留学生のもとへ指導教員を派遣する「帰国外国人留学生研究指導事業」

【支援内容】 往復渡航旅費、滞在費（現地滞在日額一万六

千円)、研究指導経費(上限一〇万円)

※「研究指導事業」募集要項↓

http://www.jasso.go.jp/exchange/sgtj_rg.html

※採用者のレポート(平成二二年度)

http://www.jasso.go.jp/exchange/shidou_r_h21.html

○日本の諸地域における各種交流事業を推進する「中島記念国際交流財団助成による留学生地域交流事業」

【支援内容】 諸謝金、旅費、消耗品費、印刷製本費、通信

運搬費、会議費等(上限三〇〇万円)

※「中島記念国際交流財団助成による留学生地域交流事業」

募集要項↓

http://www.jasso.go.jp/exchange/local_boshu.html

※平成二二年度中島記念国際交流財団助成による留学生地域交流事業レポート

http://www.jasso.go.jp/exchange/local_r_h21.html

外国人留学生のための就活ガイド 二〇一一配布中

就職活動を進める上で役立つ情報を分かりやすく紹介していますので、ぜひ活用ください。

【規格】 A5版

【内容】 就活の準備、採用試験対策、在留資格の変更、先輩の就活体験記ほか



外国人留学生のための就活ガイド 2011

※詳細↓ <http://www.jasso.go.jp/job/guide.html>

「平成二十二年 優秀学生顕彰事業受賞者表彰式」を開催しました。

優秀学生顕彰事業は「学術」・「文化・芸術」・「スポーツ」・「社会貢献」の各分野で、優れた業績を挙げた学生・生徒に対して、これを奨励・援助することを目的とし、多くの方々から寄せられた寄附金をもとにして、実施しています。五年目となる今年度は、九四の学校から合計二一六名の推薦があり、厳正な選考の結果、大賞一四名、優秀賞二八名、奨励賞五〇名、合計九二名の方々が入賞されました。

平成二十二年二月二日（土）に大賞・優秀賞受賞者を招いて、アルカディア市ヶ谷において表彰式及び祝賀会を開催いたしました。三〇名の受賞者と学校関係者等が参加し、普段は交流のない他分野の受賞者同士で話がはずむ光景が見られるなど、会場は和やかな雰囲気になりました。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.jasso.go.jp/kensyo/h21hyosyo.html>



受賞者と選考委員等